

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名			
○保護者評価実施期間	令和7年1月10日		～ 令和7年1月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 2名
○従業者評価実施期間	令和7年1月10日		～ 令和7年1月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○訪問先施設評価実施期間	令和7年1月10日		～ 令和7年1月30日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	4施設	(回答数) 4施設
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月21日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多職種で支援を行っている(作業療法士、理学療法士、心理士、保育士)	お子さんの発達や特性を踏まえた関わり方や環境、支援方法など専門職の視点から助言している。	研修等に参加し、レベルアップを図る。
2	児童発達支援を利用しているお子さんは、保護者の同意のもと児童発達支援事業と情報共有できる。	事業所での支援方法を訪問先と共有する。	児童発達支援事業と情報共有を密に行い、支援に活かす。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問支援員が兼務であるため、日程の調整が難しい。	保育所等訪問支援事業は需要が少ない。そのため常勤の支援員を配置することは難しく日程調整が難しい。	引き続き、様々な支援員で調整しながら対応していく。
2			
3			